

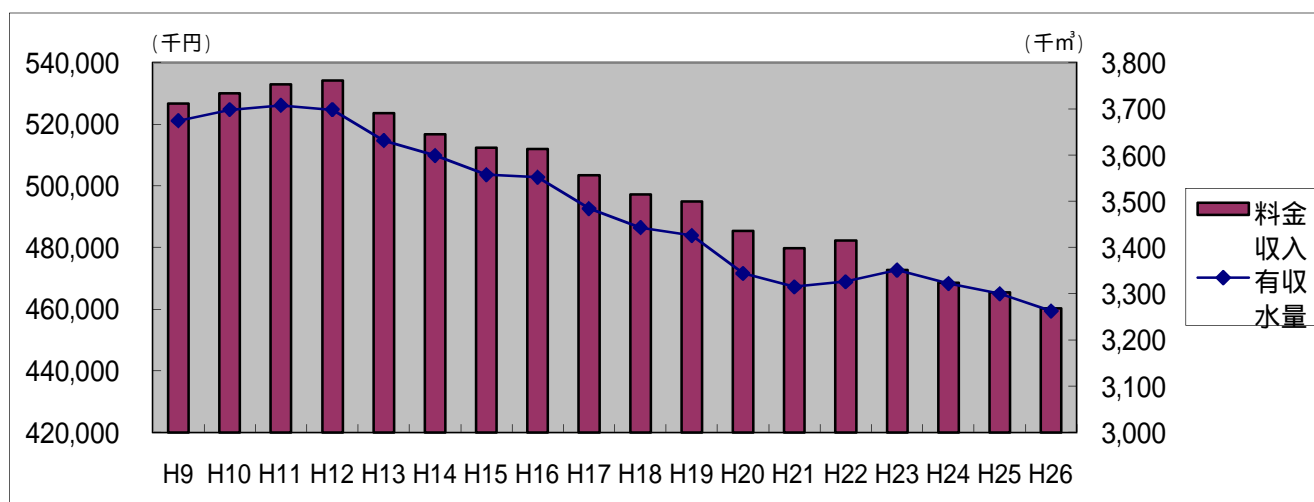
御坊市水道事業経営状況

(1) 料金収入と有収水量の推移と見通し

料金収入と有収水量は、長引く景気の低迷と人口減少により、平成12年度をピークに減少傾向が続いております。平成22年度決算は料金収入482,285千円、有収水量3,326千 m^3 で、平成12年度と比較すると、料金収入で9.7%有収水量で10.1%減少しております。
今後についても、人口減少が予想されるなか有収水量・料金収入ともに減少傾向を辿っていくものと予測されます。

年 度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
料金収入	526,772	530,058	532,866	534,092	523,501	516,671	512,313	511,965	503,518
有収水量	3,674	3,698	3,707	3,698	3,631	3,599	3,557	3,552	3,484

H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
497,227	494,921	485,264	479,677	482,285	472,663	468,551	465,459	460,297	(単位 千円)
3,443	3,426	3,344	3,315	3,326	3,351	3,322	3,300	3,263	(単位 千 m^3)

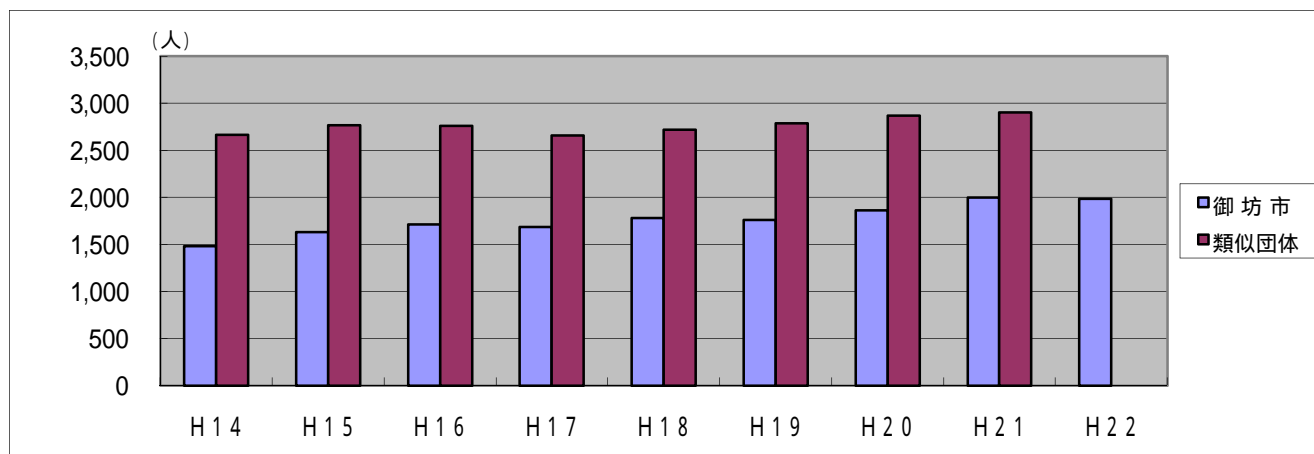


(2) 経営効率化に関する指標

この数値は人的資源がどの程度効率的に活用されているかを示す数値で、数値が小さいほど生産性が低いことがいえる。本市は全国の類似団体と比較すると約35%程度低くなっている。
今後は、事務事業の見直しや民間委託、OA化等を推進し、職員定数の縮減を図り、生産性の向上に努める必要がある。

損益勘定職員1人当り給水人口(単位 /人) 「給水人口÷損益勘定職員数」

年 度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
御 坊 市	1,478	1,628	1,713	1,684	1,778	1,759	1,865	1,999	1,987
類似団体	2,662	2,770	2,760	2,660	2,718	2,785	2,871	2,904	

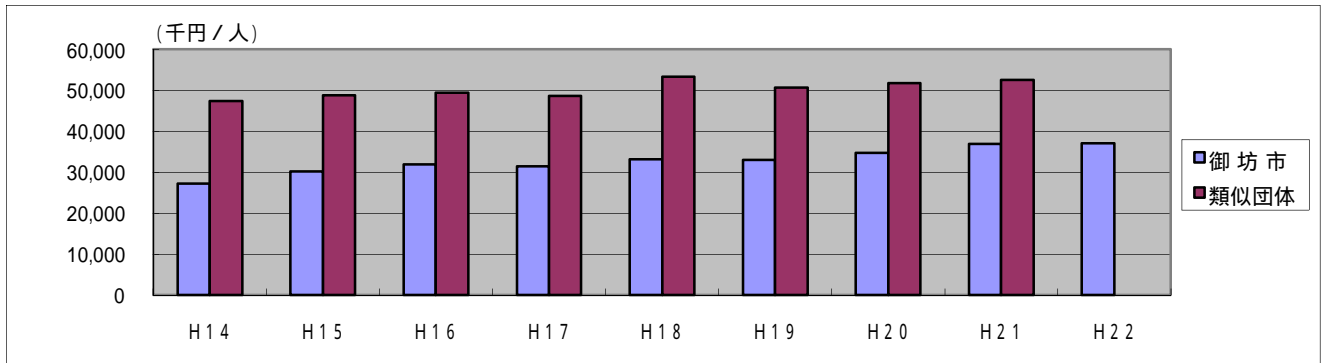


損益勘定職員1人当り給水収益(単位 千円/人)「給水収益÷損益勘定職員数」

この数値についても、人的資源の効率的活用程度を示す指標です。

本市は、類似団体と比較して低くなっており、適正な人員配置等を考慮した合理的な運営に取り組む必要があります。

年 度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
御 坊 市	27,193	30,136	31,998	31,470	33,148	32,995	34,662	36,898	37,099
類似団体	47,333	48,852	49,390	48,659	53,312	50,732	51,765	52,580	



有収率(単位 %)

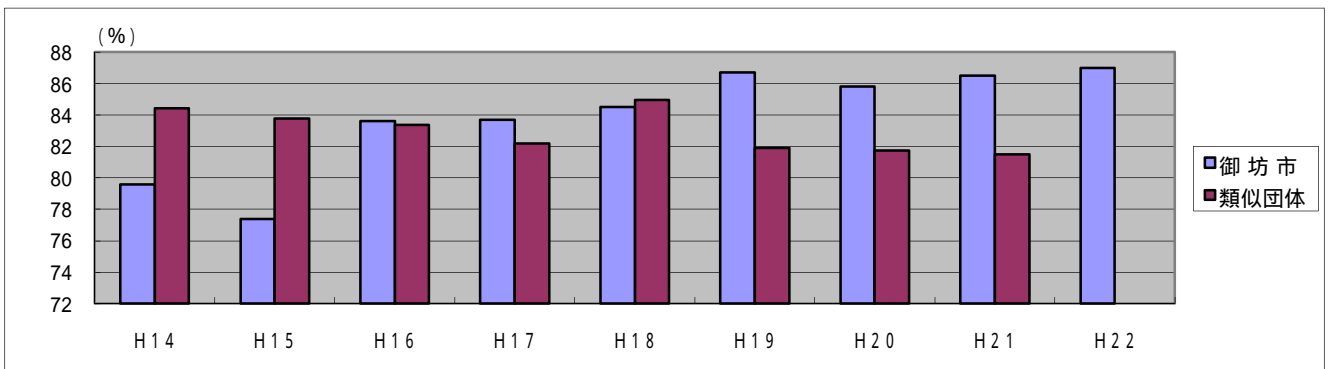
「(年間総有収水量 m^3 ÷年間総配水量 m^3)×100」

施設の稼働状況がどの程度収益に繋がっているか、有収率で確認することができる。

本市は漏水調査等の実施により年々上昇しており、類似団体の水準に達した現状です。

今後も漏水の早期発見に努めると共に、老朽管の布設替え等に取り組み、有収率の向上を図る必要がある。

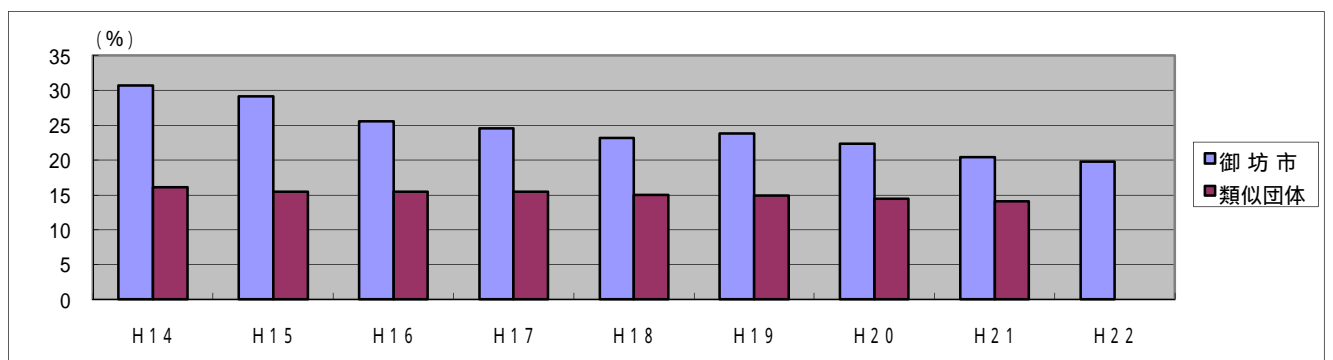
年 度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
御 坊 市	79.6	77.4	83.6	83.7	84.5	86.7	85.8	86.5	86.98
類似団体	84.43	83.77	83.38	82.21	84.97	81.9	81.74	81.51	



給水収益に対する職員給与費の割合(単位 %)「(職員給与費÷給水収益)×100」

この指標は、事業の収益性を分析するための指標のひとつであり、この指標が上昇することは好ましくない。本市は類似団体と比較して高くなっており、今後は事業運営の効率化を図り、人件費の抑制に努める必要がある。

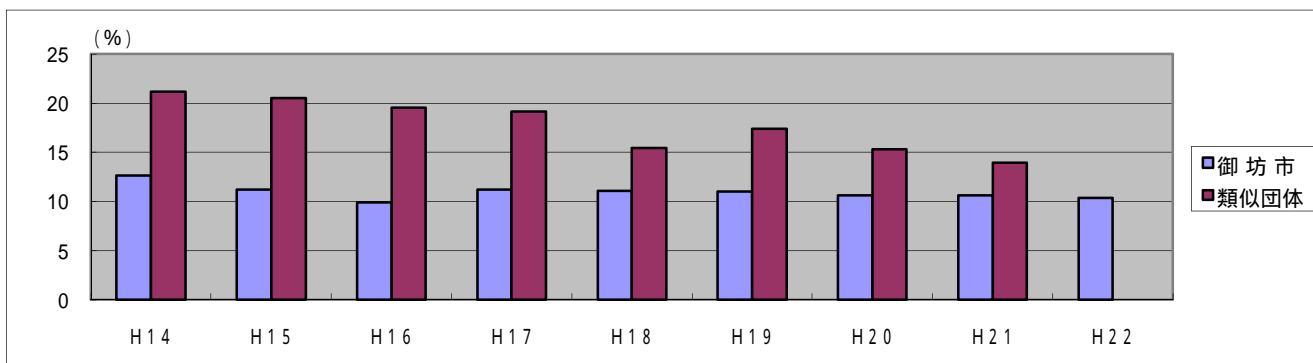
年 度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
御 坊 市	30.71	29.16	25.52	24.52	23.2	23.85	22.37	20.4	19.8
類似団体	16.08	15.43	15.45	15.47	15.04	14.93	14.49	14.07	



給水収益に対する企業債利息の割合(単位%) 「(企業債利息÷給水収益)×100」

この指標も収益性を分析するための指標のひとつであり、本市の数値は類似団体と比較して低くなっている。今後も計画的な企業債の借入に努めます。

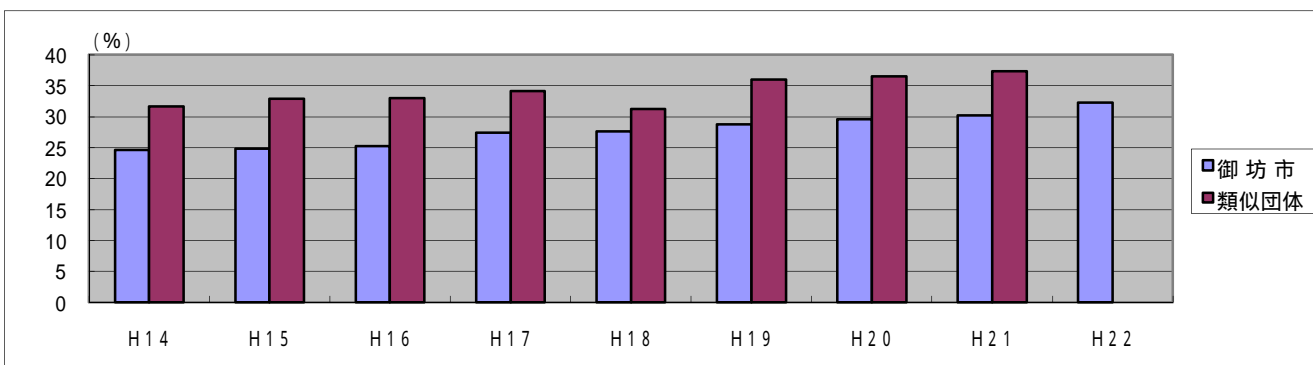
年 度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
御 坊 市	12.63	11.2	9.9	11.2	11.07	11.02	10.63	10.62	10.38
類似団体	21.18	20.51	19.57	19.17	15.42	17.42	15.3	13.98	



給水収益に対する減価償却費の割合(単位%) 「(減価償却費÷給水収益)×100」

この指標も、収益性を分析するための指標のひとつであり、数値が低いほど施設更新が遅れていることを示しております。本市は類似団体と比較してやや低い数値となっており、適切な施設更新等への設備投資が必要である。

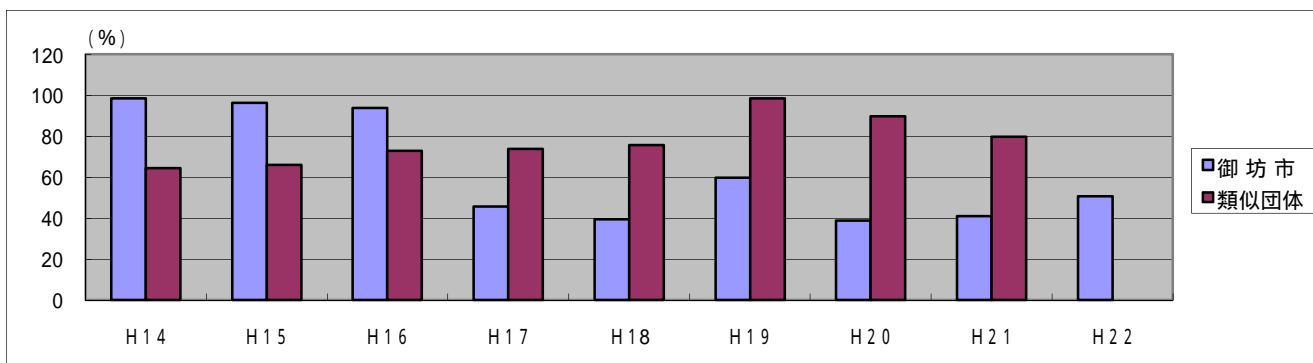
年 度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
御 坊 市	24.68	24.82	25.25	27.44	27.67	28.81	29.55	30.22	32.29
類似団体	31.66	32.85	33.03	34.15	31.24	36.04	36.51	37.37	



企業債償還元金対減価償却費比率(単位%) 「(企業債償還元金÷減価償却費)×100」

投下資本の回収と再投資との間のバランスを見る指標であり、一般的に、この指標が100%を超えると再投資を行うに当たって企業債等の外部資金に頼らざるを得なくなり、投資の健全性は損なわれることになる。

年 度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
御 坊 市	98.67	96.33	93.93	45.6	39.43	59.84	38.74	41.06	50.87
類似団体	64.47	66.17	72.92	73.81	75.61	98.57	89.85	79.77	

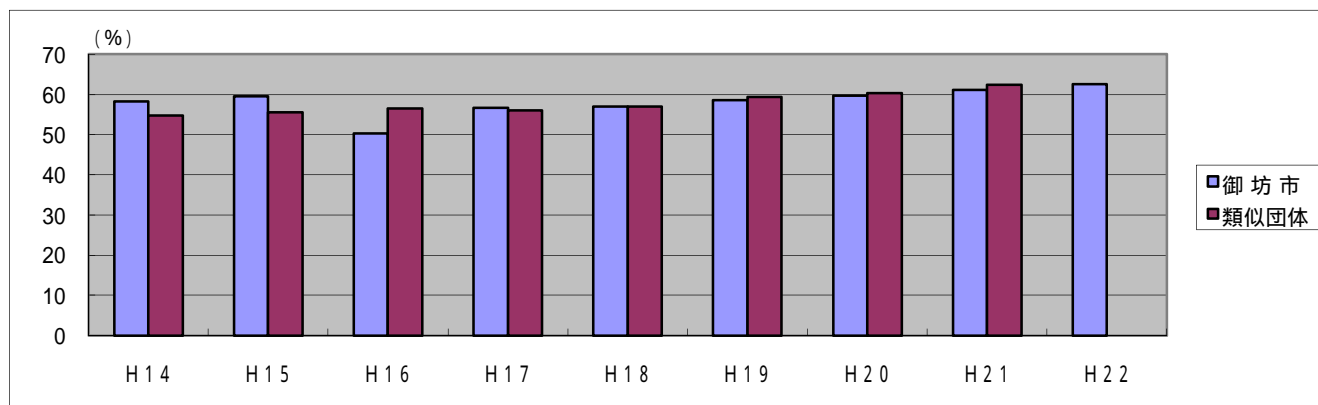


自己資本構成比率(単位 %)

「(自己資本金 + 剰余金) ÷ 総資本 × 100」

財務の健全性を示す指標のひとつであり、事業の安定化のためには、この比率を高めていく必要がある。

年 度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
御 坊 市	58.31	59.61	50.22	56.73	57.03	58.65	59.64	61.16	62.52
類似団体	54.76	55.53	56.55	56.08	56.99	59.33	60.4	62.4	



経営収支比率(単位 %)

「((営業収益 + 営業外収益) ÷ (営業費用 + 営業外費用) × 100)」

経営費用が経営収益によってどの程度賄われているかを示すもので、この比率が高いほど経営利益率が高いことを表している。

年 度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
御 坊 市	113.29	114.59	121.55	119.25	121.94	119.45	124.74	126.07	123.74
類似団体	106.9	106.7	108.03	110.38	109.64	109.33	108.63	110.48	

